

## TJB 学生編集部特集：新入生歓迎委員会

## 生物学類新入生歓迎活動に関する報告

吉田 沙織 (筑波大学 生物学類2年、新歓委員新歓オリエンテーション・履修・カリキュラム係班長)

2月下旬の新歓冊子作りから始まった新歓活動のうち、4月8日以降に行われた学類オリエンテーション、履修・カリキュラム説明について報告する。

## ●学類オリエンテーションについて

今年度のオリエンテーション担当は2年次クラス代表で構成されていたため、各クラスで上手くスムーズに行うことができた。特に入学式後の学内案内では、外は暴風雨で新歓祭が中止だったにもかかわらず、無事全員に学生証を手渡すことができたのは良かったと思う。学生証を手渡す際に新入生を学籍番号順に並ばせておいたことは学類側から高評価である。ただ、本来その日のうちに渡すべきであった履修要覧や科目一覧を渡すのが次の日になってしまったことは学類側の完全なミスであったと思う。新入生は説明前に目を通すことができなかつたし、新歓委員の仕事も増えたからである。暴風雨というアクシデントではあったが、そういうときの対処法をしっかりと考えておくべきであった。

また、今年度の学類オリエンテーションでは先生方の挨拶をカットし、代わりに顔写真一覧を配るという案を採用した。これによって全体の時間は大幅に短縮され、新入生の集中力が維持されている中で多くの注意事項を説明することができた。しかし先生

方はやはり話し足りないようで、挨拶をする先生の人数が少なかつたのに予定時間をかなりオーバーしてしまっていた。その後説明する予定だったスポデー委員ややどかり祭実行委員など、他学との連携もあった団体に迷惑をかけてしまったことは良くなかつたと思う。このことは来年度に改善してもらいたい。

## ●履修相談・カリキュラム説明について

今年度はカリキュラムが大幅に変更されたため、事前の打ち合わせがかなり重要なものになった。早いうちにカリキュラム委員長である濱先生から資料をいただいていたため、履修担当のメンバー中で多くの情報を共有して説明に臨むことができたのは良かったと思う。今年は昨年を経験を踏まえて学類主催の全体説明会(教職ガイダンス含め)も開かれ、履修についてよりわかりやすかつたのではないだろうか。

ただ、毎年ひよこで行われる履修相談はあまり効果がない。新入生は仲良くなつた先輩に直接相談を持ちかけるからである。そういう意味では今年も例年通りだったわけだが、そろそろもっと意味のある手段を考えるべきではないかと思う。

Communicated by Shinobu Satoh, Received August 13, 2008.